

海水淡水化装置見学

福岡地区同窓会で「海水淡水化センター」の見学を11月初旬に実施しました。

【海水淡水化センターの概要】

名称	海の中道奈多海水淡水化センター
所在地	福岡市東区大字奈多字小瀬抜 1302-122
所有者	福岡地区水道企業団
淡水化能力	最大5万立方メートル（一日） 約25万世帯の使用量に相当

この施設は「大林組・協和機電工業」のJVにより平成12年着工、平成17年3月竣工しました。権藤憲治郎君（1期電気）がプラント施設の建設工事責任者であった縁で見学をお願いしたところ快諾していただき、見学の運びとなったものです。

参加者は、朝永憲法同窓会新会長を含む、8名で質疑応答を含む約2時間の見学会でした。施設そのものの能力は、最大一日当たり5万立方メートルの淡水化能力があり福岡都市圏への供給の約10%で渇水時には大きく期待されるものだということでした。

質疑では心臓部である高圧逆浸透膜及びメンテナンスの内容などに及び、オペレーションを担当している協和機電工業の技術者から丁寧に説明していただきました。

今回は、最初であるため福岡地区忘年会に常時参加しているOBのみの案内で実施しましたが、次回からは同窓会のホームページを通して案内したいと思います。

実施責任者 富田 暁（1期機械）

< 施設の一部 >



< 高圧逆浸透膜関連の説明 >

